

1. 研究課題名

初期臨床研修におけるへき地性と基本的臨床能力との関連に関する研究:GM-ITE 全国データを用いた横断解析(2020-2025 年)

2. 研究の目的

本研究の目的は、初期臨床研修における研修環境、特にへき地性(地域特性)と、研修医の基本的臨床能力との関連を明らかにすることです。具体的には、GM-ITE (General Medicine In-Training Examination) スコアを指標として、郵便番号に基づくへき地尺度と臨床能力との関連を検討し、さらにその関係が単純な直線関係ではなく、非線形関係を有するかを明らかにします。

3. 研究の方法

研究デザイン:後ろ向き観察研究

対象データ:JAMEP(日本医療教育プログラム推進機構)が保有する GM-ITE 受験データ
郵便番号情報を用いたへき地尺度

対象期間:2020 年 ～ 2025 年

研究期間:2026 年 06 月 30 日～2030 年 3 月 31 日

対象者:上記期間に GM-ITE を受験した 2 年目臨床研修医

解析手法:へき地性と GM-ITE スコアとの関連について、研修医個人要因および施設要因を調整した統計解析(混合効果モデル等)を用いて検討します。

倫理的配慮:本研究は、既に収集されたアンケートデータであり、JAMEP において個人を特定できない状態にしたものを島根大学医学部附属病院へデータ提供され二次利用するものです。提供方法は、パスワード保護または暗号化された電子ファイルを用い、電子メール、クラウドストレージ、または JAMEP が指定する安全な方法により行われます。本研究において新たに個人を特定する情報を取得することはありません。共同研究機関への情報の提供に関しても、パスワード保護または暗号化した上で、電子メールまたは安全なクラウドストレージ等を用いて送付・共有いたします。パスワードはデータファイルとは別経路で通知し、各機関の規程に従い、提供されたデータを適切に管理し、研究目的以外には使用しません。研究の実施にあたっては研究内容の公開を行い、情報が利用されていることに関してのお知らせを行います。なお、個人が特定される形で研究結果が公表されることはありません。

研究組織:

主たる研究機関

島根大学医学部附属病院 総合診療医センター

研究代表者:坂口 公太

共同研究機関

済生会江津総合病院 総合診療科

研究責任者:上野 伸行

京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター

研究責任者:和足 孝之

データ提供機関

特定非営利活動法人 日本医療教育プログラム推進機構

Japan Association for Medical Education Programs:JAMEP

理事長(代表理事) 黒川 清

4.研究の意義

本研究は、研修環境の地域特性と臨床能力との関連を明らかにすることで、へき地性と臨床能力との関連を非線形関係として検討することで、「どの程度のへき地性が最も教育的効果を有するか」という実践的な知見を提供でき、初期臨床研修の配置や地域医療研修の設計に対するエビデンスを提示し、教育および医療政策の両面に重要な示唆を与えていると考えています。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。なお、個人が特定される情報の取得が無い場合、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方への対応はできません。

研究責任者:坂口 公太

島根大学医学部附属病院総合診療医センター

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2217 FAX 0853-20-2247